

番号	2 - 25	申請者	放射線技師 是枝 大地
<p>【審査申請課題】</p> <p>目標線量指標を用いた小児胸部撮影条件の最適化</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>通常、デジタル撮影システムでは、線量不足の場合はノイズが目立ち再撮影となるが、過線量の場合、デジタル値がオーバーフローしない限り再撮影は行われない。したがって、デジタル撮影システムでは過線量で撮影が行われる傾向がある。これは、小児撮影においても同様であり、小児の被ばく線量低減には撮影条件の最適化が重要である。</p> <p>近年、デジタル撮影システムにおける撮影条件の標準化を図る目的として、国際電気標準会議IEC (International Electrotechnical Commission) においてEI (Exposure Index)が提唱された。最適なEI値は撮影部位や検査目的、施設等によって異なるため、撮影部位毎に自施設の目標線量指標EI_t(target Exposure Index)を設定する必要がある。また、EI_tと撮影した画像のEI値との偏差の指標としてDI (Deviation index)がある。DIを用いることで、最適撮影条件に対する線量の多寡を容易に把握することができ撮影線量の最適化が可能である。</p> <p>しかし、当院では小児胸部撮影においてEI_tが設定されていないため、DIによる撮影線量の管理が行えておらず、撮影条件が最適化されているとは言い難い。そこで、小児胸部撮影において、目標線量指標EI_tを設定とDIによる撮影線量の管理が、撮影条件の最適化に有用であるかの検討を行う。</p>			
審査結果	承認 (令和2年11月4日)		